

平成27年度 みやざき地域志向教育研究経費 概要

所属部局等	代表者
医学部	松岡 あやか
対象となる領域	地域志向教育研究経費区分
地域志向教育領域	地域教育推進型
プロジェクト名又は研究名	
妊娠期から離乳期における家族の「食と健康」と家庭や地域コミュニティにおける「食の伝承」についての健康教育プログラム	

概要説明

<地域教育推進研究の目的>

現代においては流通が発達しており、現在の育児世代においては、地域ごとの食文化を感じられないことが多い。宮崎県健康問題として親世代・子世代ともに肥満が問題となっており、また、栄養問題として野菜摂取量、果物摂取量、カルシウム摂取量、鉄分摂取量が目標値に達していない。

人間にとって食行動は、生物学的な行動のみならず社会・文化的行動でもある。食行動の獲得は、親の食行動や父母との相互作用、家庭環境などの社会的な背景が成人に至るまで様々に影響する。妊娠期・授乳期・離乳期の食と栄養は、母体のみならず、児やその家族の生涯にわたる健康に影響する。妊娠期(胎児期)は、県境についての食を見直す良い機会となり、食行動変容により家族全体の健康の向上が期待される。

妊娠期・授乳期においては、「体重増加への不安による食事摂取量減少や栄養の偏りによる貧血や栄養不足」、「孤食による食の偏り」、「母乳育児継続率の低迷」などの課題がある。また、離乳期においては、「離乳食を作る苦痛・面倒さ」、「食べる物の種類が偏り」など離乳食のワンパターン化や、「栄養の偏りによる貧血」などの課題がある。

そこで、対象者の健康を支えていく看護職を目指す学生に、宮崎県の食や食の伝承の特徴を理解し、問題点に対する深い関心や好奇心を持ち、地域に働きかける実践力のある人材育成を目指し、「妊娠期・授乳期・離乳期の家族における食や食文化について調査」し、宮崎県において「妊婦、乳児を持つ母親への食の健康教育プログラムの実践」に取り組むことを目的とする。また、さらにその実践効果の検証と発信を行っていく。